

（「和」の精神を発信する「斑鳩文化協議会」）

斑鳩の文化を全国に発信しようと、ボランティア有志による「斑鳩文化協議会（和倶楽部）」（会長：亀井龍彦）が平成6年12月10日に設立された。現在、運営中心のメンバーは、理事12名、評議員11名。そして、同会に登録の会員は近畿全域で1,800余名を数える。

平成7年11月、藤ノ木古墳発掘10周年記念フォーラムを開催、斑鳩町制50周年記念特集として、2年がかりで109自治会を取材し『聖徳太子から1400年－斑鳩の生活史』を平成10年9月に出版した。

平成13年に「いかるが和々塾」を開塾し、聖徳太子の和の精神を学ぶ「聖徳太子学講座」を毎年続けて開講している。

会長は和々塾を開いた意義を「国内をはじめ世界各地で道徳秩序が著しく混乱し、人の和・国の和が欠落している。また、人類は自然界と共生の和がなければ生存できない。聖徳太子の『十七条

憲法』は、和の精神（心）を基として仏教・儒教などの思想を和合し、諸人の守るべき道徳を示し人の和が説かれている。この精神を広く発信したい」と語っている。

平成21年度の「聖徳太子学講座」は「聖徳太子に、なぜ、魅かれるのか！ Part 1」と題して次の日程で開催される。（有料）

（塾会場：いかるがホール TEL:0745-75-7743）

4月12日(日)	聖徳太子の『十七条憲法』 法隆寺管長 大野玄妙
5月10日(日)	聖徳太子の「和」のこころ 京都大学名誉教授 上田正昭
6月14日(日)	仏教伝来から聖徳太子まで 立命館大学教授 本郷真紹
7月12日(日)	六世紀の政権抗争 塚女子短期大学学長 塚口義信
8月9日(日)	斑鳩・藤ノ木古墳の謎 兵庫県立考古博物館館長 石野博信

今年と同協議会創立15周年を記念し、「聖徳太子シンポジウム in 東京」が10月10日（土）に東京有楽町朝日ホールで開催される。

京都大学名誉教授・アジア史学会会長上田正昭氏が「日出ずる処の天子 一和を以て貴しと為す一」と題し基調講演。

シンポジウムは奈良県立図書館館長千田稔氏がコーディネーターを務め、パネリストに、基調講演の上田正昭氏、法隆寺管長大野玄妙氏、成城大学名誉教授上原和氏、早稲田大学教授大橋一章氏、大阪大学副学長武田佐知子氏が参加。

「心豊かな日本精神の原点である和のこころ精神を多くの人に伝える」同会の活動が、世界平和につながっていくことを期待したい。（上田）



推古天皇と聖徳太子が607年に建立したとされる法隆寺は、日本最初の世界文化遺産に選ばれた。



「いかるが和々塾」のテキストとして『聖徳太子の歴史を読む』執筆者18名（共編者：上田正昭・千田稔）が昨年出版された。ご興味のある方は、斑鳩文化協議会へ連絡して下さい。

斑鳩文化協議会

〒636-0014 奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺西

1-4-21

TEL：0745-75-7417 FAX：0745-75-7418

これからの主な催し

〔主な行事〕

●薬師寺 花会式

期間：3月30日（月）～4月5日（日）

場所：奈良市西ノ京町457

本尊薬師如来に国の安泰と五穀豊穡、万民の幸せなどを祈る法要。1107年堀河天皇の時、皇后の病氣全快を祝い、造花が献上されて以来、造花の献花が毎年行われることから「花会式」と呼ばれるようになった。

舞楽、稚児行列、百華能・献香・献花・献茶などが毎日に行われる。最終日の5日の午後8

時から「鬼追式」が行われ、法要の結願を飾る。

交通：近鉄橿原線西ノ京駅下車すぐ

問い合わせ先：薬師寺

TEL：0742-33-6001

関連 URL: <http://www.nara-yakushiji.com/>